

事業名	代表者所属	鳥取大学 工学部
07KJ-07	代表者	教授 齋本 博之
おもしろワクワク化学の世界 '07 鳥取化学展	開催地	鳥取市
	助成金額	10 万円
活動概要	<p>日時 平成 19 年 8 月 1 日(水) ～6 日(月) 10 時から 18 時(6 日は 16 : 0 0 開場)</p> <p>場所 鳥取大丸 5 階催場</p> <p>対象 小・中学生およびその保護者、高校生等</p> <p>参加者(人) 1963 人およびスタッフ約 110 人</p> <p>内訳 (小中高の先生:挨拶できたのは 5 人) (生徒: 高校生以下 988、保護者・一般 975 人)</p> <p>内容 12 のブースに分かれて合計 20 のテーマで演示・体験実験を実施した。その他に、所定の時間を決めて「化学実験ショー」も実施した。企業・公設試ブースは展示が 4 テーマ、展示・体験実験が 1 テーマで、あった。</p> <p>会場出口において、本化学展に対する参加者の評価と、今後の化学展への参考のため、アンケートを実施した。また、それぞれの体験実験の記録としてスタンプラリーも実施し、生徒さんには「ワクワク化学博士」認定証を授与し、科学技術広報財団の元素周期表を記念品として贈呈した。</p>	



講義の様子



人工いくらを作ろう



カルメラ焼きを作ってみよう



ダイヤモンドを分子模型で作ろう

## 事業の目的・ねらい

次世代を担う青少年に科学技術の重要性、素晴らしさ、不思議さ、面白さ、自然環境との調和を化学の立場から紹介する。化学的な演示だけでなく実際に実験を体験してもらい、化学のおもしろさを実感していただく。その効果を増幅するために、保護者の方にも参加していただき、ご家庭に帰ってからも話題になることを期待する。近年、子供達の理科離れが目立ち始めて久しいが、日常生活に関連した化学現象の実験やものづくり、最新の科学技術の解説展示を通して、学校で学ぶ理科と身の回りで実際に役立っている材料、化学製品との繋がりをやさしく紹介すること及び、化学と自然環境とのかかわりについて「楽しさを触媒して」理解を促すことが目的である。

## 事業の概要

12 のブースに分かれて合計 20 のテーマで演示・体験実験を実施した。その他に、所定の時間を決めて「化学実験ショー」も実施した。企業・公設試ブースは、展示が 4 テーマ、展示・体験実験が 1 テーマであった。

各ブースのテーマ一覧(開催期間が記載されていないものは、すべて 8 月 1 日～6 日)

信号機のように色が変わる水(8 月 1 日～3 日)  
人工いくらを作ろう(8 月 4 日～6 日)  
空気のかで空き缶つぶし  
化学の世界のぶよぶよ(身の回りのポリマーゲル)  
赤外線のみみつ(8 月 1 日～2 日)  
生活に役立つ電気と光の応用技術(8 月 3 日～4 日)  
船を作って走らせよう(8 月 5 日～6 日)  
カルメラ焼きを作ってみよう  
においの様々な形  
液体を分けよう赤ワインが白ワインに！  
ミニライトを作ろう(8 月 4 日～6 日)、はねないマットであそぼう(8 月 1 日～3 日)  
ガラス細工(8 月 1 日～3 日)  
蝶のしおり(8 月 4 日～6 日)  
おやじの手作り科学工作  
自在カギ工作(8 月 1 日～2 日)  
アルミ缶風車(8 月 3 日、6 日)  
パラグライダー(8 月 4 日～5 日)  
ダイヤモンドを分子模型で作ろう  
蛍光色素を作ろう  
インスタント電池を作ろう

### 展示

環境にやさしい化学を目指して  
コンピューターをカミナリから守る！  
抗ウィルスマスク 鳥取から世界へ翔け！  
技術で創る地域と未来  
見てふれて！おもしろ放送技術

## 結果及び効果

入場された方々の大半は、1 時間以上の滞在時間で知的体験を満喫されたようだ、った。会場出口において、本化学展に対する参加者の評価と、今後の化学展への参考のため、アンケートを実施したところ、「おもしろかった実験」については、「空き缶つぶし」と「カルメラ焼き」が 1 位 2 位を競っていた。3 日間のテーマでは、「人工いくら」が健闘していた。また、ブースを体験した記録としてスタンプラリーも実施し、生徒さんには「ワクワク化学博士」認定証を授与し、科学技術広報財団の元素周期表を記念品として贈呈した。実行委員会の中心を担ったのは鳥取大学工学部物質工学科の教職員・学生であったが、他の学部、中学高校の先生方、NPO 法人の方々の多大な協力をいただいた。大学内の科学啓蒙活動にとどまらず、地域の関係者と協力して実施できたことは、実施スタッフにとっても大きな成果で、あった。研究室での日常とは別の側面で、アルバイト学生のがんばりと成長にも著しいものがあった。貴財団からのご支援は大変有効に活用でき、本化学展の成功の基となり、心から感謝申し上げます。